



令和5年12月1日
東京都立石神井特別支援学校
校長 柳澤 由香

学 校 だ よ り

「学習発表会に向けて」

副校長 佐藤 匡郁

今年も残すところ1か月となりました。今年は、暖冬といわれていますが、さすがに朝夕の寒さを実感する日が増えてまいりました。秋ごろからのインフルエンザの流行に、学校生活は感染への対策を緩めることなく、日々の学習活動に取り組んでおります。御家庭でも継続した感染対策に御協力いただいております、たいへん感謝しております。

さて、学校では先日、学習発表会のリハーサルを行いました。学習発表会開催にあたり、「当日の発表の様子を思い描きながら、そこに至るまでの子供たちの活動を大切にしていこう」と、日々の学習を積み重ねてまいりました。そして、この積み重ねこそが「一人一人が自分の役割を果たし、仲間と協力することの大切さを体験的に学ぶこと」であり、子供たちにとって大切なものだと考えています。

子供たちは、皆様に最高の姿をお見せしようと、一生懸命に練習を重ね、高め合ってきました。大きな声が出せるようになったり、立ち位置や動きを覚えたり、楽器演奏や歌、ダンスが上達したり、自分たち自身の成長に気付き自信をもち始めています。

このようにして作り上げてきた今年度の学習発表会が、将来にわたり子供たちの心のどこかに残っていつてもらえたら、学習発表会は意義の一つを達成したといえるのではないかと思います。

保護者の皆様には、子供たちの緊張感と達成感を共に味わっていただければ幸いです。そして、何より、子供たちの精一杯の取り組みを暖かく見守っていただき、御家庭でも発表の様子を話題にして、貴重な経験を共有していただければと思います。

寒い日が増えてまいります。冬季休業中も、体調管理を心がけていただき、元気に3学期を迎えられることを楽しみにしております。